

平成 28 年 10 月 13 日

大阪府空手道連盟 御中

強化部会  
部長 藤田 典正  
(文責：岩藤)

### 第 71 回国民体育大会について（報告）

下記のとおり標記大会に参加しましたので内容及び結果を報告いたします。  
記

- 試合結果      総合成績 第 2 位    (1 位岩手県 2 位大阪府 3 位東京都)  
                     女子総合 第 1 位    (1 位大阪府 2 位岩手県 3 位山梨県)
  - (少年男子組手)            小崎 友基            5 位
  - (少年女子形)                巴山 涼香            1 回戦敗退 (V S 岩手県)
  - (少年女子組手)            尾立佳菜子           3 位
  - (組手軽量級)               船橋 真道            1 位
  - (組手中量級)              葭矢 雄太            1 位
  - (組手重量級)              工藤 開              2 位
  - (成年女子組手)            篠原 渚              5 位
  - (成年男子形)              堀庭 裕平            2 回戦敗退 (V S 喜友名)
  - (成年女子形)              清水 希容            1 位
  - (団体組手)                 大阪チーム           5 位 (V S 東京都)
- 期間            平成 28 年 10 月 8 日～10 月 10 日
- 場所            岩手県営武道館
- 概要

●10月6日(木)

9:15に新大阪駅集合し新幹線を「のぞみ」「こまち」と乗継、5時間かけて盛岡駅に到着する。選手は直接練習会場に入り体をほぐす。その後ホテルにチェックインしミーティングを行い期間中の行動の注意や食事に関する注意を伝える。



●10月7日(金)



7:00朝食をし、8:30に練習会場に向け出発する。形選手が練習時間の延長を希望したため、実行委員会に連絡し練習時間を9:00～12:30まで延長してもらうこととした。17:00からの監督会議に藤田、高山が出席し18:00からホテルロビーでミーティングを行った。大会参加賞、ゼッケン、IDカード等を渡す。また翌朝は6:30食事7:00出発を伝えて解散する。

る。

●10月8日(土)大会第1日目

大阪から予約をしていたタクシーに分乗し、7:00にホテルを出発し大会会場に向かった。当日は天候が悪化し朝から1日中雨の天気で会場の移動には非常に不便した。計量を済ませ練習会場でアップを行い開会式に参加し個人戦が始まった。初日は少年男女形試合と成年組手の6種目が行われた。結果は上記のとおり形試合はトーナメントが悪く厳しい結果であったが、成年男子組手においては全選手が決勝まで進出し、3種目とも大阪府と岩手県の対戦となった。結果として2種目で勝利し、総合優勝を狙う地元岩手県を脅かす位置につけ、12.5ポイント差で大阪府が岩手県を追いかける位置であった。翌日試合の成年形及び少年組手の選手は1日目の大会終了が遅くなるのが予想されたため午後4時ごろに会場からホテルへ帰らせ、明日の試合に万全の体調を整えるようにした。試合終了後優勝した2名の選手はドーピング検査を受けたためホテルへは21:30ごろに戻った。



またこの日は大阪体育協会の方が午後から夕方まで視察いただき大阪選手の活躍を見ていただくことができた。

●10月9日(日)大会2日目

ホテルが朝食時間を早めたため 6:00 から朝食を取ることができた。7:00 にホテルを出発し会場へ向かった。大会 2 日目は成年形と少年組手の試合が行われた。女子で確実に得点を獲得し、2 日目の競技終了時点において女子総合成績で大阪府が岩手県を上回り女子総合 1 位を決めた。

団体組手は 2 回戦からとなり兵庫県との対戦となり僅差で 3 回戦進出を決める。



2 日目終了時点、天皇杯で 1 位岩手県と大阪府の差は 11 点差となっていた。団体組手で大阪が 1 位、岩手県が 4 位という結果になれば大阪府が総合 1 位となる。

●10 月 10 日（月） 大会 3 日目

前日と同様に出発し監督コーチ陣と選手で今日の戦い方のミーティングを行う。

大阪府は 3 回戦石川県と対戦したが無難に勝利し、次の東京戦に臨んだ。4 回戦の東京戦は 2 勝 2 敗 1 ポイント差で大将戦を迎えたが、大将戦が引き分けとなり 1 ポイント

の内容差で敗退する結果となった。優勝を狙えたのに 4 回戦敗退というとても残念な結果となった。当日も大阪体育協会の方が朝から応援に駆け付けてくれたが良い結果を出せずとても残念であった。

東京戦では大阪への旗が重かったように思えたが、予想されていたことなので選手たちには覆してほしかった。

(最後に)

大会前から他府県の団体組手の優勝予想は大阪であった。しかし団体戦は残念な結果に終わったが、天皇杯で 2 位、皇后杯で 1 位と過去数年の大会の中では良い結果を得ることができた。また成年男子組手は 3 階級すべてに大阪の選手が進み会場を沸かせた。団体組手は大阪府と京都府の 2 府がベスト 8 に終わったため、来年の国体ではシードが無い場合開催県の愛媛県を含めて、トーナメントの混乱が予想される。

岩手県は大阪から遠く、荷物が多い選手には荷物を持つての移動が少ない新幹線を使用した。5 時間の新幹線移動はとても疲れた。大阪からも応援に来ていただいた空手関係者、保護者の方々にもお礼申し上げます。

次の 12 月の天皇杯では団体組手で京都に勝てるように更に努力したいと思います。

以上

